

## 第2号様式（第3関係）

### 平成26年度 豊山町行政改革推進委員会会議録

#### 1 開催日時

平成27年3月18日（水）午後2時から午後2時50分まで

#### 2 開催場所

豊山町役場 4階 委員会室

#### 3 出席者

明瀬政治会長 青山克己委員 大口司郎委員 小寺洋夫委員（途中出席）  
奥本哲巳委員 浅井恵子委員 鈴木征美委員 柴田輝雄委員  
鈴木幸育町長 坪井豊治副町長 安藤光男総務部長 小川徹也総務課長  
牛田彰和総務課長補佐 林真吾総務・防災係長

#### 4 欠席者

浅野拓章委員 安藤茂市委員

#### 5 議題

- (1) 第4次豊山町行政改革大綱・集中改革プランの進捗状況について
- (2) その他

#### 6 会議資料

- (1) 「平成26年度第4次豊山町行政改革大綱・集中改革プラン実施計画進捗状況」
- (2) 資料1 「広報とよやま平成26年5月号抜粋」
- (3) 資料2 「パブリックコメント一覧」
- (4) 資料3 「組織体制のあり方に関する提言書」
- (5) 資料4 「平成26年度 職員研修実績」
- (6) 資料5 「定員管理表」
- (7) 資料6 「職員の年齢構成」
- (8) 資料7 「年度別職員給与」
- (9) 資料8 「給料に対する時間外勤務手当の割合」
- (10) 参考資料「第4次豊山町行政改革大綱・集中改革プラン」

## 7 会議内容

総務課長 :

改めましてこんにちは。

定刻より若干前ですが、あらかじめ出席とお聞きしております委員の方が全員お見えですので、ただ今から平成26年度豊山町行政改革推進委員会を開催いたします。

委員の皆様におかれましては、ご多忙のところ、ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

わたくしは、本日の委員会の司会を務めさせていただきます総務課長の小川と申します。どうぞよろしく願いいたします。

本日の会議につきましては、発言者の氏名を除きまして会議録を公開させていただきますので、あらかじめご承知おきいただきますようお願い申し上げます。

まず始めに、委員の変更がございますので、委嘱状の伝達をさせていただきます。

伝達は自席で行ないますので、代わられた委員の方は自席でお待ちくださいますようお願いいたします。

(委嘱状伝達)

それでは、代わられました4名の委員のご紹介をさせていただきます。

筒井委員から代わられました青山委員でございます。水野委員から代わられました大口委員でございます。平野委員から代わられました奥本委員でございます。白倉委員から代わられました浅井委員でございます。

ありがとうございました。

それでは、会長よりごあいさつをいただきます。会長、よろしくお願いいたします。

会 長 :

会長の明瀬でございます。

私は、この業務に関係することになって7年になります。

昨日、日銀総裁の会見がありました。アベノミクスの効果を受け、円安の進行や株価上昇により、日本はデフレ脱却に向かいつつあります。

しかし、国内においては格差が生じたり、物価は上昇しても生活がよくなるなど、実態経済は必ずしも快方に向かっているわけではないことを念頭に置いてほしいと思います。

なぜこんな話をしたかと言いますと、決して将来に向けてハッピーという感覚だけでいると、極めて厳しい状況になる可能性があるということをお話をするため、委員会の冒頭に申しあげました。

今日の委員会ですけど、必ずしもいい方向に向かっているわけではないことを念頭に、町には引き締まった財政運営をお願いしたいと思います。

また、職員のスキルアップを含めて、生産性の高い自治体になってほしいと思います。

今日は、これまでの取り組みをきちんと整理し、今の予算とその評価を行いたいと思いますので、ご協力の程よろしくお願いいたします。

総務課長： ありがとうございます。続きまして、町長からごあいさつを申し上げます。

町 長： 皆様方こんにちは。

ここ2、3日は非常に温かい日が続いておりますが、また寒波がやってくると聞いております。

今日は、平成26年度の豊山町行政改革推進委員会を開催いたしましたところ、ご多忙にも関わらずご出席いただきまして誠にありがとうございます。

本町では、平成23年3月に行政改革推進委員会の答申を受けまして、第4次行政改革大綱・集中改革プランを策定したところでございます。

今年度につきましては、大綱の実施に向けまして職員一丸となって取り組んできたと思っております。

本委員会では、引き続き協働の推進、業務の効率化の推進など集中改革プランの実施計画における8項目の進捗状況を報告したいと思っております。

委員の皆様から忌憚のないご意見をいただき、今後も一層の行政改革に取り組んでまいりたいと思っておりますので、よろしくお願い申しあげまして私からのあいさつとさせていただきます。

総務課長： それでは、本日の会議の資料のご確認をお願いします。

本日配布させていただいておりますのが、「次第」1枚、「委員名簿」1枚になります。

先に配布させていただきました資料としまして、「平成26年度第4次豊山町行政改革大綱・集中改革プラン実施計画進捗状況」としてA4横の8ページもの、資料1としまして「広報とよやま平成26年5月号抜粋」の1枚もの、資料2としまして「パブリックコメント一覧」が1枚、資料3としまして「組織体制のあり方に関する提言書」のA4縦の16ページもの、資料4としまして「平成26年度 職員研修実績」の6ページもの、資料5としまして「定員管理表」が1枚、資料6としまして「職員の年齢

構成」が1枚、資料7としまして「年度別職員給与」が1枚、資料8としまして「給料に対する時間外勤務手当の割合」が1枚、それから参考資料としまして「第4次豊山町行政改革大綱・集中改革プラン」の11ページものがございます。以上でございますが、不足等がございましたら、お申し出くださるようお願いいたします。

ここで、会議の成立について、ご報告申し上げます。

豊山町行政改革推進委員会設置条例施行規則第4条第1項の規定に基づき、会議の成立には委員の過半数の出席が必要となっています。

現在の出席委員は、10名中7名でございます。よって、本会議は成立しておりますことをご報告申し上げます。

それでは、議題に入ります。豊山町行政改革推進委員会設置条例第5条の規定により、議長は会長が行うこととなっております。

以後の取り回しを会長をお願いいたします。よろしくをお願いいたします。

会 長 : ただ今から、会議の進行を私が務めさせていただきます。

議題(1)の第4次豊山町行政改革大綱・集中改革プランの進捗状況について、事務局の説明を求めます。

総務・防災係長: 第4次豊山町行政改革大綱・集中改革プランの進捗状況についてご説明いたします。

まず、始めに資料1をご覧ください。平成25年度の行政改革進捗状況について、平成26年5月号広報で掲載したものです。

行政改革大綱においては、取組状況について定期的に町広報などを通じて広く町民に公表するとしていることから毎年掲載しているものです。

続いて、平成26年度実施計画進捗状況についてご説明します。お手元の資料「平成26年度 第4次豊山町行政改革大綱・集中改革プラン実施計画進捗状況」をご覧ください。

1枚めくっていただき、1ページをご覧ください。こちらの表は、左から集中改革プランの「取組事項」「主な内容」「具体的な目標」を記載し、その右に昨年度までの行政改革推進委員会において協議いただいた平成23年度から平成25年度の進捗状況、その右の太枠内が本日協議していただく「平成26年度進捗状況」、その右には平成27年度までの実施計画を記載しています。

それでは、(1)地域協働の推進から順にご説明します。

「具体的な目標」の欄に記載してあります町民討議会議の開催につきま

しては、8月2日（土）と8月3日（日）の2日間にわたり、「第4次総合計画後期基本計画」をテーマに開催し、2日間で約80名の方が参加しました。

住民参加団体の支援では、自治会や自主防災会、夏まつりや町民体育大会の実行委員会などに支援を行いました。

また、一般財団法人自治総合センターからの助成金を活用し、大門自治会の備品購入に対して助成を行いました。

産学官の連携の実施では、町民討議会議を愛知学泉大学と連携して開催しました。

また、名古屋大学と連携・協力に関する協定を締結し、大学との協働により地域公共交通網形成計画を策定しました。

女性委員の登用では、審議会等の女性委員の登用率は31.7%でした。パブリックコメントの実施につきましては、資料2をご覧ください。

平成26年度は、資料2の裏面にあります計8件を実施しました。

うち7件につきましては、特に意見はありませんでした。1件につきましては、3名の方から意見をいただきました。

つづいて2ページに入ります。

(2) 業務の効率化の推進につきましては、事務事業の見直しで、豊山町、小牧市、岩倉市、大口町及び扶桑町の2市3町の研究会に参加し、事務の共同処理などについて研究しています。平成26年度は、各部会が行う連携業務の見直しを行いました。

具体的には、PPS部会では契約電力会社について、防災部会・協働部会では連携可能業務について検討し、電算部会では先進自治体の視察を行いました。

また、前年度と同様、物品購入については、役場内の一般事務用品の購入・管理を会計課で一元的に行いました。

3ページに入ります。

(3) 民間委託等の推進につきまして、指定管理者制度の推進では、平成22年度から学習等供用施設と豊山スカイプールについて、指定管理者の指定を引き続き行っています。なお、平成26年度に新たに指定した施設はありませんでした。

総合福祉センター北館さざんか及び青山保育園につきましては、平成27年度から指定管理者の指定を行います。

民間委託の推進では、前年度と同様、町のマイクロバスの運行を民間委

託により実施しました。

4 ページに入ります。

(4) 簡素で効率的な組織の構築では、有識者懇談会の「組織体制の在り方に関する提言書」が出され、提言を尊重して平成27年度から組織の見直しを行います。提言内容につきましては、資料3をご確認ください。

プロジェクトチームの活用については、豊山町総合福祉センター北館さざんか及び青山保育園への指定管理者制度の導入について、また、豊山町災害時業務継続計画（BCP）の策定について、それぞれプロジェクトチームにより検討しています。

平成26年度からは、マイナンバー制度の導入に対応するため、豊山町社会保障・税番号制度検討会議により検討を進めています。

5 ページに入ります。

(5) 人材育成の推進についてです。研修プログラムの作成・実施については、前年度と同様、豊山町人材育成基本方針、職員研修体系により実施しました。

資料4をご覧ください。

こちらが平成26年度に行った研修内容と参加人数、研修日数です。

参加人数は、延べ269人でした。

人事評価制度の導入につきましては、現業職を除く一般職を対象に人事評価制度を実施しました。評価結果は、被評価者の昇任・昇格に反映させるとともに、人事異動や職員研修等に活用します。

県等との人事交流の実施につきましては、県に1名職員を派遣しています。

また、東尾張地方税滞納整理機構へは平成23年4月から、愛知県後期高齢者医療広域連合へは平成25年4月から、宮城県東松島市へは平成26年4月からそれぞれ派遣しております。

6 ページに入ります。

(6) 定員の適正管理についてです。

資料5の定員管理表をご覧ください。

平成25年度末までに退職した職員は、定年退職6名、自己都合退職3名の計9名でした。

平成26年度に新規採用した職員は7名であり、平成26年4月1日現在の職員数の合計は、25年度から2名減の128名となりました。

平成26年度末までに退職する職員は、定年退職2名、勸奨退職2名、

自己都合退職4名の計8名であります。これに対し、平成27年度は11名の新規採用を予定しています。

その結果、平成27年4月1日現在における職員数の合計は、3名増の131名となります。

これは、平成29年度の定年退職10名を見越して、計画的に採用することによるものです。職種別の内訳につきましては、各自でご確認願います。

次に、資料6をご覧ください。

こちらは、職員の年齢構成になっていきますので、各自でご確認願います。進捗状況の資料に戻りまして、7ページに入ります。

(7) 給与等の適正管理につきましては、人事院勧告制度を尊重し、給料月額の一部引き上げ等の給与改定を行いました。

資料7をご覧ください。

こちらが、年度別職員給与になります。

平成26年度は、平成25年度に比べて約6,500万円の減額、平成27年度は、職員数の増加に伴い、約2,700万円の増額見込みとなっています。

時間外手当の支給については、給料額の7%以内となるよう、職員に周知推進しました。

資料8をご覧ください。

給料額に対する時間外手当額の支給割合は、平成25年度2.3%、平成26年度2.0%、平成27年度4.2%となっています。

なお、平成27年度につきましては、当初予算額をベースとしております。いずれも7%以内となっています。

8ページに入ります。

(8) 健全な財政運営につきましては、日常的経費の削減で、省エネルギー型製品への切替計画により、リース期間の満了したノートパソコンを省エネルギーに配慮した機器に切り替えました。

また、低燃費車への切替計画により、公用車1台を、使用目的に合致する車種・用途・形状の中から、より環境にやさしく、低燃費な車に切り替えました。

財源確保では、有識者懇談会において、これまで提言された補助金等・扶助費・施設使用料の見直し状況について審議していただきました。

以上で、平成26年度の進捗状況の説明を終わります。

会 長 : 事務局の説明が終わりました。委員の皆様からご意見のある方は、ご発言をお願いいたします。

短い時間の中で圧縮された内容でしたので、気になる部分がありましたら、是非ご意見ををお願いします。

委 員 : 資料3で職員数の削減の推移が記載されています。

これを見ますと、表向きは正規職員の人数を削減しているように見えますが、非常勤職員は年々増加しております。これについて、どのようにお考えでしょうか。

副 町 長 : 職員数の削減につきまして、当初の集中改革プランでは127人を目標に努力してまいりました。

その際、正規職員で補いきれない部分につきましては、非常勤職員を充てております。

非常勤職員につきましては、保健センターの短時間勤務の方や保育園の短時間勤務の方が増加しています。

特に、保育園につきましては、園児の年齢に応じて必要となる職員数が異なるため、不足部分については非常勤職員を充てています。

保育園の正規職員につきましては、1教室に正規職員1人の配置が町の方針です。

委員のおっしゃられるとおり、非常勤職員の人数は増加しています。

ただ、保育園の例で申し上げますと、正規職員1人を雇う費用で短時間の非常勤職員4名を雇うことができます。

人件費につきましては削減しておりますが、結果として非常勤職員を含めた職員数が増加していることは事実でございます。

委 員 : 正規職員と非常勤職員を比べますと、やはり行政サービスに差があるのではないかと思います。

行政改革ということも重要ですが、行き届いた行政サービスも大事ではないかということで質問させていただきました。

会 長 : 昨年度も別の委員から同様の質問がありました。

経費節減と行政サービスについて、どうしても二律背反の関係にあることは仕方ない部分でもあると思います。

委 員 : 昨年度も同様の質問がありましたので、私の意見を申し上げます。

職員数が減員し、非常勤職員が増加しておりますが、本当に行政サービスは低下しているのでしょうか。

職員のスキルがそれだけ上がり、不足分を十分補っていると思います。

私はそういう見方をしているということで、昨年度も意見を述べさせていただきました。

また、最近では民間企業ではパートから正社員にするという事例がございます。

民間と行政では状況が異なりますので、決して同じ扱いはできないと思いますが、本委員会でこうした事例について、財源の問題もあるとは思いますが、いろんな角度から議論するのもよいのではないのでしょうか。

副町長： 委員から財源の問題が出ましたので一言申し上げます。

本町は、行政改革により人件費を3億円削減しました。

この削減がなければ、本町の財政調整基金は底をついていました。

平成27年度は、財政調整基金を取り崩すことなく予算編成を行うことができるようになりました。

また、職員数につきまして、27年度は実態に即して職員数を3名増やしました。

一時的には、町民の方にも職員にも何らかの我慢をしてもらう時期があるかと思えます。

しかし、財政運営と住民サービスとのバランスを考え、町民の方に利便性を感じてもらい、豊山町に住んでよかったと思われるような行政運営をしていく必要があると考えておりますので、ご理解いただきたいと思えます。

会長： ありがとうございます。その他、ございますか。

委員： 保健センターや保育士は、人を守ったり、人を育てる職種です。

非常勤職員の方につきましては、処遇の改善や研修は行われているのでしょうか。

副町長： 非常勤職員の処遇の改善につきましては、平成27年度から時給を10円値上げします。経験年数が3年経過した方につきましては、時給を30円値上げしています。

保育士や保健師等につきましては、近隣市町の動向を踏まえ、賃金を決めております。

非常勤職員の研修につきましては、総務部長からお答えします。

総務部長： 非常勤職員の研修につきましては、職種に関係なくメンタルヘルス等の研修を受けさせております。その他、職種に応じた専門研修につきましては、こちらでは把握しておりません。

その他、日常的に必要な研修につきましては、全ての職員に参加させて

おります。

会 長 : 非常勤職員の問題につきましては、どこの市町村でも抱えている問題です。この場で答えがでるとは思いませんが、今後検討していく必要があると思っております。

その他、よろしいでしょうか。

特になければ、今日の会議は私の方でこれ以上の意見はないと判断させていただきます。終了したいと思います。

総務課長 : 本日はありがとうございました。

これから、報酬をお支払いたします。なお、報酬金額6,000円から、所得税及び復興特別所得税あわせて10.21%、612円を差し引きまして、5,388円を、本日お支払いいたします。

この復興特別所得税は、「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」に基づき、課税されるものです。

係の者が自席まで報酬をお渡しに参りますので、印鑑をご準備いただきますようお願いいたします。